

外ヶ浜町新プラン

平成 18 年度 (2006) ~ 27 年度 (2015)

青森県外ヶ浜町

外ヶ浜町新プラン

(1) まちづくりのテーマ（基本理念）

人口8,600人。私たちの外ヶ浜町には、豊かな海と大地、清らかな水、そして美しい風景があります。

遠い昔から、私たちの祖先が築いてきたふるさとを、今を生きる私たちの手で守り、はぐくみ、たゆまぬ創造を続けながら、よりよき里として次代へ引き継がなければなりません。

旧三厩村・平館村・蟹田町が合併し、外ヶ浜町として生まれ変わった2005年。新たなまちづくりが始まりました。

住みよいふるさとを創るためには、地域に根ざした個々の思いが集まり話し合いながら、連携とまとまりのある地域の力を培っていくことが大切です。

家族や地域の人たちと安心して暮らし、多様な価値観の人たちと交流し合い、いきいきと地域を楽しむことができる元気な外ヶ浜町を創るため、まちづくりのテーマを次のように定めます。

(テーマ)

青い海・力強い風・緑豊かな半島

三つの個性を結んでつくる

そとがはま

●計画期間：平成18年度(2006)～27年度(2015)

(2) まちづくりのビジョン（基本構想）

私たちの暮らしの中にある課題を見つけ、めざすべき地域の将来像を実現するため次の5つの柱をまちづくりの骨子として組み立てます。5つの柱はいずれも町民アンケート調査により、町民から示された重要な取り組み課題です。また、このビジョンを実現するには町民と行政との協力なしにはできません。新しいまちづくりは町民と行政の協働によって実現していきます。

本構想の計画期間は、平成18年度(2006)から27年度(2015)までの10年間ですが、5年ごとに計画内容を再検討し見直されるものもあります。

① 豊かな自然環境と共存するまちづくり (郷土の保全・交通基盤の整備)

外ヶ浜町の緑豊かな山々は、川を潤し、津軽の海をはぐくんでいます。これらの自然が織りなす多様な生態系は、私たちに多くの恵みと安らぎを与えてくれます。

自然・風土がもたらす多彩な恵みと潜在する多様な価値を、地域住民一人ひとりが地域固有の貴重な財産・資源として、かけがえのない美しい風景、心休まる自然環境を守り育てます。

さらに、県都青森市と近接し、下北半島、北海道と対面する立地条件を最大限に活かし、域内外を結ぶ交通基盤の整備を進め、人・物・情報が行き交う拠点として、地域全体を一体的に機能させ、あらたなにぎわいを創出し、町が発展することをめざします。

1. 自然環境の保全
2. 治山・治水・海岸の保全
3. 津軽・下北両半島と北海道をつなぐ交通基盤の整備
4. 公共交通ネットワークとシステムの充実

②健やかに暮らせるふれあいのまちづくり (保健・医療・福祉の充実)

深刻化する人口の減少、少子高齢化の進展、核家族化の進行、地域構造の変化などにより福祉を取り巻く環境が大きく変化し、町民の福祉に対するニーズは高度化・多様化している中で、すべての町民が健康で安心した生活を送ることが地域の活力の源です。

赤ちゃんからお年寄りまで、誰もが自立し尊厳を持って社会の重要な一員として参画し、地域ぐるみで支え合う心豊かな福祉社会の実現をめざします。

このため、保健・医療・福祉が一体となって生きがい活動や能力発揮を支援するとともに、快適で充実したものとなる環境整備を図り、外ヶ浜町で暮らしてみたい、住んで良かったと思えるまちづくり、いきいきと笑顔で暮らせるまちづくりを進めます。

1. 保健・医療・福祉体制の充実
2. 高齢者福祉の充実
3. 社会福祉の充実
4. 児童福祉の充実

③地域特性を活かした産業が躍動するまちづくり (産業の振興・雇用の拡大)

外ヶ浜町の産業は、恵み豊かな美しい海と大地の自然を基盤に、主産業である農林水産業や観光産業、商工業などが展開されています。

農林水産業の生産性を一層高めるとともに、農林水産物を活用し付加価値を高める加工産業の育成、豊かな自然を活用した滞在型・体験型の広域観光体制の整備など、本地域の特色ある資源を活かした産業振興を図るとともに、いくつもの産業が関連しながらの新たな産業・技術の創出により、若者をはじめとする雇用機会の確保・定住促進に結びつく、地域の自立性ある経済基盤づくりを進めます。

1. 農林水産業の振興
2. 商工業の振興

3. 観光の振興
4. 1.5次産業の促進

④安心して住み続けていたいまちづくり (生活環境の整備)

外ヶ浜町に住む一人ひとりが何に幸せを感じ、どんな暮らしがしたいのか、地域の価値観を形にしていく、新たな環境づくりが必要です。このため、幅広い住民の参画により、町民と行政が一体となり、町民が豊かで快適な安らぎのある生活が実現できるような生活環境の整備を進めます。

また、福祉施設、教育・文化施設など既存の公共施設について広域的視点に立った有効活用を検討するなど、これまでの地域づくりの成果を活かしたバランスのとれた整備を図りながら、より一層の効率的な施設利用と多様な住民ニーズに対応した行政サービスの実現をめざします。

さらに、町民の生命と財産を守るために、犯罪被害に遭いにくい環境づくり、地域・家庭・学校などと連携した防犯・交通安全対策を推進します。また、地域の特性に配慮した、効率的な消防・救急体制の整備を進めます。

1. コミュニティ活動の推進
2. 生活環境の整備
3. 生活安全の確保
4. 行政サービスの充実
5. 防犯・交通安全対策の推進
6. 消防・救急体制の整備
7. 雪に強いまちづくりの推進

⑤誇りと愛着のあふれるまちづくり (教育・文化の振興)

地域が自立していく方策のひとつとして、町民一人ひとりが、自分の意志に基づき、自分に適した方法で、生涯にわたって学習できる環境づくりが必要です。

学校教育においては、自らの力で新しい時代を切り拓くたくましい人間を育成するため、確かな学力や他人を思いやる豊かな心、健やかな体など「生きる力」をはぐくむ学校教育の推進に努めます。

社会教育においては、知性と感性に富み、心身ともに健康で活力のある人間形成をめざす教育機会を拡充していきます。また、郷土を愛し、誇りの持てる豊かで住みよいふるさとづくりにつながる生涯学習推進体制の整備を図り、学習の場を数多く創出していきます。

郷土がはぐくんできた文化や歴史的遺産を保護・保存・伝承するとともに、地域文化を醸成していくための文化活動を推進し、支援していきます。

1. 幼児教育の充実
2. 学校教育の充実
3. 社会教育の充実
4. 生涯学習推進体制の確立
5. 地域文化の醸成

(3) 基本計画

1. 豊かな自然環境と共存するまちづくり (郷土の保全・交通基盤の整備)

①自然環境の保全

外ヶ浜町は、険しさと穏やかな自然の景観美が調和した津軽国定公園の指定地域を保有しています。こうした地域はもとより、町の自然環境保護に対する町民意識の高揚普及を図り、その保護・保全に努めます。

- ・ 広葉樹等の植栽など緑化運動の推進
- ・ 増川ヒバ実験林永久の森構想の推進
- ・ 河川の水質汚染防止対策の強化
- ・ 陸奥湾の環境保全、再生の推進
- ・ 環境学習等の推進

②治山・治水・海岸の保全

集中豪雨などによる自然災害を未然に防止するため、急傾斜地や河川の整備を図ります。また、蟹田地区から三厩地区龍飛までの全長 39 kmに及ぶ海岸保全整備に努めます。

- ・ 自然と調和した治山治水事業の推進
- ・ 緩傾斜護岸、消波工、離岸堤の設置促進
- ・ 砂浜、磯辺、マリナーなどの人工の海浜造成整備
- ・ 海岸保全の推進

③津軽・下北両半島と北海道をつなぐ交通基盤の整備

外ヶ浜町は、むつ湾を挟んで向かい合う二つの半島と北海道渡島半島をつなぐ津軽半島の交通の要衝です。

陸路では、津軽半島を横断し五所川原市や鱒ヶ沢町などとアクセスする「津軽やまなみライン」。これと交差し、本半島を北へ縦走する「津軽なかやまライン」。加えて、当町北端の龍飛地区と北津軽郡

中泊町を結ぶ「竜泊ライン」が日本海側の北津軽郡とアクセスしています。

鉄路は、JR津軽海峡線で北海道まで約90分につながり、海路は蟹田地区からむつ湾を横断し、約60分で下北半島に至るカーフェリーが就航しています。

こうした交通ネットワークを、より安全・快適で利便性の高い機関とするための整備促進運動の強化に努めます。

- ・ 国道280号蓬田以北バイパスの早期完成とアクセス道路の整備
- ・ 蟹田～脇野沢間カーフェリーの運行などの充実
- ・ 北海道新幹線の整備促進と平舘～今別二股間の道路の整備促進
- ・ 県道三厩～小泊線の整備促進
- ・ 国道339号の整備促進
- ・ 青函カートレイン整備構想の推進
- ・ 三厩～福島町間カーフェリーの就航再開推進

④公共交通ネットワークとシステムの充実

町民の日常生活を支える公共交通の利便性向上のため、循環バス、路線バス、患者輸送バスなどの交通体系を整備します。

- ・ 三厩支所～外ヶ浜中央病院循環バスの利便性向上
- ・ 循環バス、路線バス、患者輸送バスの効率的な連携による利便性向上と料金体系の検討

2. 健やかに暮らせるふれあいのまちづくり (保健・医療・福祉の充実)

①保健・医療・福祉体制の充実

外ヶ浜町の医療施設は、外ヶ浜中央病院のほかに診療所が1カ所、民間の診療所が5カ所（医科3、歯科2）あります。

外ヶ浜中央病院は、青森市以北の中核病院として、その広域的役割を果たしており、今後も安心して暮らせる医療環境の維持に努めます。また、保健・医療・福祉及び介護サービスを連携した地域包括ケアシステムの充実と、町民が健康でいきいきと生活できるための支援体制の充実を図ります。

- ・保健・医療・福祉の連携
- ・介護サービス、生活支援サービスの充実
- ・広域医療の充実（病院、診療所の連携・機能強化）
- ・健康増進活動の推進（健康診断の強化、健康づくり活動の強化）
- ・在宅医療、救急医療体制の整備充実

②高齢者福祉の充実

外ヶ浜町は、65歳以上の人口割合が32.7%（平成17年4月1日）と高いため、よりきめ細かな高齢者福祉サービスを提供するとともに、健康づくりや生きがいづくりなど高齢者福祉の充実を図ります。

- ・介護サービス、在宅医療、健康管理等を一体的に行うための情報ネットワーク整備
- ・高齢者の生きがい活動、心の健康づくり、能力発揮支援施策の強化
- ・自立した快適な高齢社会を支える環境の整備（生活環境整備、自然・温泉の活用等）
- ・地域保健活動の充実

③社会福祉の充実

福祉は誰もが必要とし、すべての町民が心豊かに健康でいきいき暮らすことを願っていますが行政だけでは実現できません。町民がお互いに助け合い、支え合う心と行動を基本に、すべての人にやさ

しい福祉の充実を図ります。

- ・ 障害者福祉の充実
- ・ バリアフリーのまちづくり推進
- ・ 生活支援施策の充実
- ・ 青少年の健全育成に関する施策の充実
- ・ 男女共同参画社会の形成
- ・ 福祉ボランティア活動の充実と組織づくりの推進

④児童福祉の充実

町の将来を担う子どもたちは地域の宝といわれ、子どもたちが健やかに育つことは町民すべての願いです。外ヶ浜町の子どもたちも年々減少しており、これが地域活力の低下や子ども自身の成長にも影響を与えます。少子化に加え、共働き家庭やひとり親家庭など子どもを取り巻く環境が大きく変化し、家庭や地域の子育て機能の低下が懸念されることから、子どもを安心して産み育て、地域全体で子育てを支援する環境づくりを進めます。

- ・ 子育て支援の充実
- ・ 地域内の相互扶助システムの構築
- ・ 児童の健全な成長を促す施策の充実
- ・ 児童福祉施設の機能充実
- ・ 町立保育所の民営化による保育サービスの充実
- ・ 子どもを守る防犯・防災体制の確立

3. 地域特性を活かした産業が躍動するまちづくり (産業の振興・雇用の拡大)

①農林水産業の振興

基幹産業である農林水産業の生産性を高めるため、生産基盤の整備と事業の共同化・組織化を進めるとともに、特色ある地域の資源を活かした特産品化、ブランド化を促進し、付加価値の高い農林水産業システムの確立を図ります。

特に農業においては、地域の地質と気象条件に合った適地適作を基本に、売れる米づくりへの取り組みや転作作物の本作化、収益性の高い野菜や花き栽培の導入・拡大を推進します。

水産業においては、資源管理型漁業やつくり育てる漁業などにより水産資源を確保して高品質な水産物の安定生産を促進するとともに、漁港・漁場の整備を図り水産資源をはぐくむ豊かな海づくりに努めます。

また、担い手の育成を図り、専門的な知識、技能を有する人材の活用を進めます。

- ・農林水産物の高付加価値化（ブランド化）の促進
- ・地場産品販売所のネットワーク化の促進
- ・後継者育成対策の強化
- ・安全で安心な農林水産物の安定供給と生産者の経営基盤の強化
- ・漁港漁場整備
- ・増養殖漁業の振興

②商工業の振興

にぎわいのあるまちを形成するために、既存の商店街の再活性化を図り、地元の一次産品を活かした付加価値の高い製造業の振興を図ります。また、地元の自然環境を活かした次世代クリーンエネルギー開発企業などとの情報交流を深め新たな起業の促進を図ります。

- ・経営体質の強化
- ・商店街活性化事業の推進
- ・農林水産物の販路拡大
- ・地場産品販売所の運営の充実
- ・新エネルギー事業（風力発電等）の推進

- ・ 祭り、イベントの促進

③観光の振興

人々の価値観がゆとりやうるおいを求めるようになり、都市部の人々が身近にない自然景観や食文化などを求めて余暇を過ごすことが多くなりつつあります。津軽国定公園をはじめとするわが町の特色ある多彩な観光資源や地域資源を活用した、四季折々の観光戦略の展開に努めます。

- ・ 広域観光推進体制の整備
- ・ 冬季観光資源の発掘、育成
- ・ 龍飛崎周辺の観光資源の整備と再開発
- ・ 道の駅「みんなや」「たいらだて」、(仮称)海の駅「トップマスト」の充実
- ・ JR蟹田駅、三厩駅前の整備開発
- ・ 海、山、川、温泉等を活用した体験型観光の推進
- ・ 郷土料理の開発、普及の推進
- ・ 観光情報ネットワークの推進
- ・ 新幹線対策の促進

④1.5次産業の促進

外ヶ浜町で採れた新鮮で安心安全な農林水産物を、町民にも提供できる地元販売ルートの再構築に努めます。

また、特色ある農林水産物を原料とする1次産業の産品を加工、高次化する1.5次産業を育成し、新技術や新産品を開発するとともに積極的に市場開拓と販路拡大を図ります。

- ・ 地産地消の推進と販路の拡大
- ・ 食品産業の育成
- ・ 産業おこしの支援
- ・ 特産品の開発
- ・ フードセンターの効果的な運営

4. 安心して住み続けていたいまちづくり (生活環境の整備)

①コミュニティ活動の推進

人口が減少し、高齢化が進む中で地域づくりに求められるのは、地域や各種団体が連携と交流により地域の活力を維持していくことです。お互いの個性と主体性を認め合い、共通の目的に向かって意見を交わし、地域住民が主体となった特色ある地域づくりのためのコミュニティ活動を推進します。

- ・自治会組織の機能強化の推進
- ・地域内各種団体などの連携強化推進
- ・コミュニティ団体の活動支援の強化
- ・コミュニティ団体の組織間・地域間交流の推進
- ・情報ネットワークの推進

②生活環境の整備

町の人口は年々減少しており、若い人が町外へ流れ、高齢化が進んでいます。外ヶ浜町は津軽半島の交通の要衝であり、国道280号バイパスが完成すれば青森市のベッドタウンとして定住人口を増やすことが望めます。外ヶ浜町らしい豊かで美しい自然に囲まれた快適なライフスタイルを提案することで、町民が誇りを持ち、町外の人たちも住んでみたい町になります。若い世代から高齢者まで多様な世代が共に生活できるように人にやさしい住まいづくりを進めます。

- ・一般廃棄物処理施設及び埋め立て最終処分場の整備
- ・廃棄物再資源化の展開
- ・公営住宅の再編整備、宅地分譲の推進
- ・環境と調和した美しいまちなみの形成
- ・下水道の整備
- ・道路標識、施設案内板の整備

③生活安全の確保

町民が安心して快適な環境の中で生活できるよう、地震、集中豪雨などの自然災害に強いまちづくりを推進します。また、一人暮らしのお年寄りなど災害弱者の避難方法を決めておくなど、安心して暮らせるように広域的視点で対策を強化します。

- ・地域防災情報システムの整備
- ・災害に強いまちづくりの推進
- ・蟹田川、増川川等の河川の改修促進
- ・避難訓練の実施
- ・災害避難場所の確保

④行政サービスの充実

町民の立場に立ったやさしい行政を展開していくためには、積極的な町民参加が必要です。行政は住民のためにとという考え方を基本として町民参加の行政運営を推進します。また、行政組織が大きくなったことにより、今以上に専門的な人材の配置に努め高度な行政サービスの提供を推進します。

- ・町民参加の行政運営（行政懇談会、地区代表者会議などの設置）
- ・社会環境の変化に対応した行政サービスの提供
- ・地域の特性に考慮した行政サービスの充実
- ・行政情報などの効率的な提供のための環境整備

⑤防犯・交通安全対策の推進

町民が安全で安心して生活することができるように、関係機関が連携し、地域の実情に応じた犯罪や防犯情報の提供、犯罪の発生しにくい環境づくりなど、地域防犯対策を強化します。また、交通事故から町民の生命身体を守るため交通安全対策を推進します。

- ・防犯に配慮した町なみの形成促進
- ・防犯意識の高揚と自主防犯活動の促進
- ・交通安全対策に配慮した交通安全施設の整備
- ・交通安全教育の充実

⑥消防・救急体制の整備

町民の生命と財産を守るために、広域消防・救急体制については、国の基準を指針とし、地域の実情に即した整備を進めるとともに、消防団の活性化の促進、自主防衛組織の育成を図り防災行政無線の拡充など、地域住民への情報連絡体制の整備促進を図ります。

- ・外ヶ浜、今別消防分署の整備充実
- ・消防、救急体制の整備充実と効率化
- ・防災無線の統合整備

⑦雪に強いまちづくりの推進

降雪により阻害される冬期間の道路交通を確保するため、生活道路・通学路を重点的に除雪します。また、安全・安心な冬の歩行者空間を確保するために、流雪溝などを整備し町民が安心して冬の暮らしを送ることができる除雪、融雪を行います。

また、克雪だけではなく、活雪、利雪という視点で雪を強みに変えていく取り組みを進めます。

- ・冬期間の道路交通及び居住環境の整備
- ・融雪・流雪溝の整備
- ・活雪、利雪の推進

5. 誇りと愛着のあふれるまちづくり (教育・文化の振興)

①幼児教育の充実

少子化や核家族化、女性の社会進出の増大など、子どもを取り巻く社会や家庭環境が変化しています。幼児期における教育は、人間形成上極めて重要であることから、幼児期にふさわしい教育環境の整備を図り、さらに家庭教育の重要性の認識強化に努めます。

- ・幼稚園・保育所・学校との連携
- ・保護者の学習機会の推進
- ・児童福祉関係機関との連携

②学校教育の充実

新しい時代を生き抜く心豊かでたくましい人づくりが求められています。

外ヶ浜町の自然や歴史・文化等をとおして、子どもたち一人ひとりの個性や創造力を引き出し、健康で心豊かな夢はぐくむ学校教育の推進に努めます。

- ・ふるさとに親しむ体験学習の拡充
- ・確かな学力、豊かな心、健やかな身体を育てる教育の推進
- ・一人ひとりが自らの生き方を考える教育の推進
- ・教育環境の整備・充実

③社会教育の充実

外ヶ浜町の将来を担う人づくりのために学習活動を支援する指導者などの育成や生涯学習にかかわるリーダーの養成に努め、社会教育の充実を図るとともに、地域の学習活動などの拠点となる公民館の充実をめざします。

町民がスポーツ交流や健康づくりをとおして、うるおいと活気のある生活ができる環境づくりに努めます。

- ・学校と地域の協働による教育活動の推進
- ・スポーツ推進体制の充実

- ・サークル活動などのリーダーの養成
- ・社会教育施設の整備・充実
- ・家庭教育の充実

④生涯学習推進体制の確立

町民一人ひとりが生涯のいろいろな時期や場面において身近にスポーツに親しんだり、自己の充実と啓発や生きがいのある生活が送れるように、学習機会の整備拡充を図ります。また、学習の成果を活かすために、文化活動やボランティア活動、趣味など活動場面の充実に努めます。

- ・生涯学習推進体制の整備・充実
- ・学習機会の提供
- ・生涯スポーツの推進
- ・ボランティア、サークル活動の推進

⑤地域文化の醸成

先人が築き、守り伝えてきた貴重な文化財を保護・保存し、有効活用しながら未来に伝えるとともに、新たな地域文化の創造をめざします。

- ・埋蔵文化財の保護・保存
- ・伝統文化の伝承及び後継者の育成
- ・新たな文化の創造